

北海道新十津川農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和3年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	①資格取得の積極的な取得を推進するとともに、アグリマイスター顕彰制度を推奨し、資格取得合格率の向上を目指します。 ②専門分会等で専門性を高めます。	・アグリマイスター顕彰制度に取り組むことができた。 ・専門性を高める取り組みができた。	・受験者数を拡大し、取り組む。 ・関係機関との連携強化で継続。	4 4
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	①郷土の産業の現状と課題を踏まえ、積極的に郷土の活性化を目指します。 ②各教科との連携及び農業教科での基礎学力と英語学習の充実を目指します。	・郷土の産業の現状理解を深める取り組みができた。 ・基礎学力向上の取り組みに終わった。	・郷土の活性化を目指す実践の強化を図る。 ・基礎学力及び英語学習の強化を継続して行う。	4 3
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	①先進農家の視察や講演、スマート農業技術の学習、GAP学習に積極的に取り組みます。 ②関係機関と連携して「地域のメインクロープ」の実践に取り組みます。	・GAPの学習や視察、スマート農業学習に取り組めた。 ・地域の主要農産物生産ができた。	・内容の充実を図り、継続して行う。 ・メインクロープの実践と継続を図る。	4 5
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	①地域の関連団体及び産業施設と積極的な利用や連携に努めます。 ②関係機関との連携及び生産・加工・販売技術の向上に取り組みます。	・農業クラブや教科内で農協や明和会と連携できた。 ・専門分会ごとに関係機関との連携が充実した。	・内容を精選しながら充実させていく。 ・産学官の連携を深めて生産から加工販売を行う。	4 4
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	①有機JAS、GAP認証を意識して実践学習を実施します。 ②効率的な圃場運営と環境整備の徹底を目指します。	・GAPを意識した実践に心がけ、昨年より向上できた。 ・環境整備の徹底した実践ができた。	GAPを意識した実践学習の強化を図る。 ・作付け品目を精選し効率的な運営と整備の充実。	3 4
	⑥「食農」教育を推進します。	①幼小中との連携による食育学習を実施します。 ②地域の行事や各種イベント等を活用し、町民への食育推進を目指します。	・コメやサツマイモで食育学習できた。 ・イベント等の活用による食育はできなかった。	・内容の充実と連携範囲の拡大を目指す。 ・町民の食育推進のため保健福祉課との連携をする。	5 2
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	①地域の資源や農産物を積極的に栽培し、生産力、品質の向上を目指します。 ②専門分会を軸に、地元農産物や食材、資源を活用した加工品作り、生産への活用を実施します。	・地域の農産物生産学習ができ生産力が上がった。 ・各専門分会が積極的に生産や加工に取り組むことができた。	・生産力と品質を高める研究の継続をする。 ・専門分会を軸に次年度も継続する。	3 3
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	①地域への花壇苗の提供及び花壇造成、ガーデニング作品展示を積極的にこなします。 ②異世代交流や施設訪問等積極的に取り組みます。	・苗の提供や作品展示を計画通りできた。 ・コロナ禍で訪問はできなかったが、交流は努めた。	・駅舎跡地の花壇造成や作品展示の充実。 ・取り組めることを積極的に取り組み、交流を深める。	5 2
V 地域防災を推進する学校	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	①役場産業振興課との連携による農村集落再生事業やスマート農業に協力します。 ②ピンネ農協など各種団体との連携による様々な活動に積極的に取り組みます。	・農村集落再生事業やスマート農業に概ね協力できた。 ・農協や関係団体の活動は例年並みに終わった。	・内容の充実と積極的に企画して実践していく。 ・関係団体との連絡調整と実践内容の精選。	3 3
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	①火災、地震等、防災意識の向上と充実を図ります。 ②危機管理意識の徹底を図ります。	・防災訓練や学習を深めることができた。 ・活動前後に危機意識の徹底指導ができた。	・防災訓練の継続と内容の充実。 ・危機管理意識の指導を継続し定着化を図る。	5 3